

執筆分担

まえがき	岩瀬 徹
第1章 市川市の地形と気象	
第1節 地形の概要	玉置善正・溝口浩司
第2節 気象の様子	厚川正和
第3節 水の動き—湧水から川へ—	佐野郷美
第4節 東日本大震災の水辺への影響	金子謙一
第2章 市域の自然の姿とその変遷	
第1節 むかしの植生を推測する—縄文・弥生時代～近世—	百原 新
第2節 低地に水田が広がっていた時代—明治・大正～昭和前半—	金子謙一
第3節 都市化が進んだ時代—昭和後半～平成—	金子謙一
第3章 都市に暮らす生き物	
第1節 都市化と都市生物の登場	唐沢孝一
第2節 人と共存するツバメ	唐沢孝一・越川重治
第3節 都市鳥の暮らし—鳥から見た都市環境—	
1. 都市鳥の出現	唐沢孝一
2. 市内に生息する2種類のカラス	唐沢孝一
3. 人家周辺で暮らすスズメ	唐沢孝一
4. 都市に進出したヒヨドリ	唐沢孝一・越川重治
5. ムクドリと集団ねぐら	越川重治
第4節 街なかのヒキガエル—ヒキガエルが暮らせる街とは—	佐野郷美
〔コラム1〕ヒキガエルの冬眠場所と目覚めの時期	唐沢孝一
第5節 戻ってきたタヌキ、進出するハクビシン	金子謙一
第6節 市川の帰化植物—研究の流れと現状—	岩瀬 徹
〔コラム2〕帰化植物と外来植物	岩瀬 徹
第7節 市川の外来動物	佐野郷美
第8節 身近に暮らすさまざまな動物	
1. 身近に暮らす哺乳類—コウモリ、モグラ、ネズミほか—	金子謙一
2. 住宅とその庭に棲む爬虫類と両生類	佐野郷美
3. 身近な昆虫など	山崎秀雄
4. 環境の指標となるクモ	加藤輝代子
第4章 残された自然と保全の取り組み	
第1節 残された市川の林	
1. 市川市内の樹林のあらまし	岩瀬 徹
2. 緑を守る取り組み	金子謙一
〔コラム3〕鳥による種子散布	唐沢孝一
第2節 市川のクロマツ—街なかの黒松群—	金子謙一
第3節 谷津の保全	金子謙一
〔コラム4〕絶滅危惧種イノカシラフラスコモの保護保全	佐野郷美

第4節	真間川水系をめぐる取り組み	
1.	真間川水系の治水と水辺の保全	佐野郷美
2.	真間川水系の鳥	唐沢孝一
3.	調節池緑地のモズのはやにえ	越川重治
第5節	江戸川一山と海をつなぐ一	
1.	市川にとっての江戸川	金子謙一
2.	アユが遡上する江戸川	金子謙一
3.	大河川・江戸川を利用するトンボ	
(1)	ナゴヤサナエとヒヌマイトトンボ	互井賢二
(2)	ヒヌマイトトンボの保全の取り組み	金子謙一
4.	フジバカマとノカラマツ	岩瀬徹
5.	河川敷や水辺が育む生きもの	
(1)	江戸川の鳥	唐沢孝一
(2)	江戸川河川敷の昆虫	山崎秀雄
第6節	市川海辺一埋め立てのはざままで一	
1.	海辺の環境と底生動物	風呂田利夫
2.	江戸川放水路の干潟とトビハゼ	
(1)	江戸川放水路の干潟	佐野郷美
(2)	トビハゼの生態	田中正彦
(3)	トビハゼの暮らす干潟の保全	佐野郷美
3.	海辺の野鳥	唐沢孝一
4.	海浜性の昆虫と植物	
(1)	珍しい海岸性ゴミムシ	谷野泰義
(2)	海岸性甲虫	山崎秀雄
(3)	市川の海浜植物	岩瀬徹
第7節	行徳野鳥観察舎の歩み	蓮尾純子
第5章	市川市の動植物	
第1節	植物の種類相	岩瀬徹・金子謙一
第2節	動物の種類相	
(1)	哺乳類	金子謙一
(2)	鳥類	唐沢孝一
(3)	両生類、爬虫類	佐野郷美
(4)	魚類、甲殻類、貝類	金子謙一
(5)	昆虫類	山崎秀雄
第3節	市川市を模式産地とする動物	山崎秀雄
第4節	市川市の動植物目録	
(1)	植物目録の見方	岩瀬徹
(2)	動物目録の見方	山崎秀雄
(3)	動植物目録(ディスク)	自然部会
あとがき		山崎秀雄

執筆者一覧

厚川正和 (あつかわ まさかず)	元 市川中学校・市川高等学校教諭
岩瀬 徹 (いわせ とおる)	千葉県生物学会顧問
加藤輝代子 (かとう きよこ)	東京環境工科専門学校教員
金子謙一 (かねこ けんいち)	市立市川自然博物館学芸員
唐沢孝一 (からさわ こういち)	元 東京都立両国高等学校教諭
越川重治 (こしかわ しげはる)	千葉県立船橋東高等学校教諭
佐野郷美 (さの さとみ)	千葉県立船橋芝山高等学校教諭
互井賢二 (たがい けんじ)	房総蜻蛉研究所行徳トンボ研究室
田中正彦 (たなか まさひこ)	千葉県立千葉高等学校教諭
玉置善正 (たまおき よしまさ)	元 市川市立第五中学校長
蓮尾純子 (はすお すみこ)	日本鳥類標識協会評議員
風呂田利夫 (ふろた としお)	東邦大学名誉教授
百原 新 (ももはら あらた)	千葉大学大学院園芸学研究科
溝口浩司 (みぞぐち ひろし)	市川市立第四中学校教諭
谷野泰義 (やの たいぎ)	千葉県昆虫談話会会員
山崎秀雄 (やまざき ひでお)	元 市川中学校・市川高等学校教諭

※敬称略・五十音順

協力者・協力機関

本書の刊行にあたり、次の方々にご協力をいただきました。特に、ツバメ営巣調査、ヒキガエル産卵調査、タヌキ・ハクビシンの写真撮影に関しましては、多くの市民の皆様、関係機関の皆様にご協力をいただきました。記して感謝申し上げます。このほか、ここにお名前の無い多くの方から情報のご提供等、たくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。(敬称略・五十音順)

執筆・編集協力

大澤 徳一 木村 陽子

調査協力

青山 旭	秋元久枝	東 和男	新井登志雄	飯生恵衣子
内田正吉	大沢 明	大城菊彦	大野景德	小野崎 充
須賀常吉	鈴木 裕	須田博久	互井賢二	竹内平一郎
千草 会	鳥居雪子	中谷朱実	花見義二	藤 平 暁
藤原孝夫	増田富一郎	欄 明治	三ッ澤真里子	

写真・図版提供

阿部祥子	石川一樹	石川 勉	一般財団法人日本地図センター	
大野景德	岡崎祥江	小口岳史	尾崎めぐみ	叶 悠真
株式会社パレオ・ラボ	北川真理子	木村 和子	行徳野鳥観察舎友の会	
工藤 敬	公益財団法人千葉県教育振興財団			
国立研究開発法人産業技術総合研究所	柵瀬 信夫	佐々木浅雄	佐藤 達夫	
渋谷三朗	下平 宏	杉浦弘和	杉原重夫	関 信一郎
高橋 誠	多留聖典	辻 智隆	鳥居雪子	永井壮一郎
兵頭幸男	福地由美子	藤田真純	藤間博之	星井健一郎
前田圭子	松塚 幸	松丸一郎	真間川の桜並木を守る市民の会	
真間川流域研究会	山家公夫	山口 誠	横山 元	

市史編さん事業関係者

市川市史編さん委員会

- 石川日出志 (平成20年4月1日～)
岩瀬 徹 (平成20年4月1日～平成23年3月31日)
唐沢孝一 (平成20年4月1日～平成23年3月31日)
朽木 量 (平成20年4月1日～)
久留島典子 (平成20年4月1日～)
佐野郷美 (平成20年4月1日～平成23年3月31日)
杉原重夫 (平成20年4月1日～)
竹内壮一 (平成20年4月1日～)
西海賢二 (平成20年4月1日～)
村田隆三 (平成20年4月1日～)
百原 新 (平成23年4月1日～平成27年3月31日)
山崎秀雄 (平成20年4月1日～)
◎吉村武彦 (平成20年4月1日～)
○米屋陽一 (平成20年4月1日～)
- ※市史編さん事業は平成20年度に開始し、平成23年度に付属機関となった
※平成27年度現在の委員長には◎印を、副委員長には○印を付した

市川市史自然編編集委員会 (自然部会)

- 調査編集委員 岩瀬 徹
唐沢孝一
仮谷道則
佐野郷美
山崎秀雄
- 市史編さん専門員 福士 融 (文化振興課)
博物館学芸員 金子謙一 (市川自然博物館)
宮橋美弥子 (市川自然博物館)

市川市史編さん調査員

- | | | | | |
|------|------|------|------|-------|
| 今村英子 | 小川 洋 | 木村陽子 | 越川重治 | 小松茉莉奈 |
| 佐藤達夫 | 澁谷 孝 | 館野光輝 | 寺村敬子 | 野長瀬雅樹 |
| 徳江靖子 | 宮内博至 | 森角武久 | 横山孝仁 | |
- (以上、五十音順)

- 市史編さん事業協力 生涯学習部 考古博物館 自然博物館
市史編さん事業事務局 文化スポーツ部 文化振興課

あとがき

本書“まえがき”にあるように再び、市川市史刊行計画がなされたことは機を得たものである。それは、前市史刊行後の社会情勢の変化や学術的な発展があり、それを反映するとともに新たに民俗編と自然編が加わった。

前市史では、自然の記述は第1巻に詳細な地形・地質の記録はあるが、気象・動植物はない。この時代に刊行された市町村史は自然の記述は簡素なものばかりである。人々が暮らす地域の風土が民俗、産業などに多大の影響を与えてきたことに対する受け止め方が小さかったためであろうか。

自然の記録は文書や標本として残るようになったのは明治以降（1868年）であり、それとても微々たるもので、本誌の記述は主に戦後（1945年以降）の限られた期間のものであるが、これまでの資料と研究者の知見を合わせてまとめたことに大きな意義がある。

市川市に在勤・在住者の中に勤務のかたわら動植物、地形・地質、気象現象を調査研究する人々があり、個人的ではあるが知見と資料の蓄積がなされていった。市内の自然環境の調査は市川市が2001～2003年に行った「市川市自然環境実態調査」である。これは市川市内の自然を研究してこられた方々と別に調査を依頼した方々とで現況調査と過去の業績を集大成した。「市川市自然環境実態調査」は本書の実質的な資料であり、本書はこの時の関係者に依る部分が大きい。

本書には引用・参考文献を節末に掲載したので、必要に応じて原典にあたることができる。また、市川市から記録された動植物のリスト、および本書掲載データの一部と未掲載データをディスクに収録したので、活用いただきたい。

自然編の編さんに協力いただいた市民の皆様、調査員の皆様、執筆者の方々、また、編さん事業が長期にわたっているため市役所の担当部署と担当者の交代もあったが、関係された方々並びに諸機関に感謝申しあげる。

平成28年3月

市川市史編さん委員・自然編編集委員会委員長 山崎 秀雄

市川市史 自然編

—都市化と生きもの—（通巻6）

平成28年3月25日発行

編集 市川市史自然編編集委員会

発行 市川市
千葉県市川市八幡1-1-1
市史編さん事業事務局 文化スポーツ部 文化振興課
Copyright (C) 2016 City of Ichikawa

印刷 河北印刷株式会社

定価 1,000円（内税）

※本書に掲載した写真および資料の無断転載ならびに無断複製は、著作権法上での例外を除き禁じられています。